

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第265号 2026年6月号

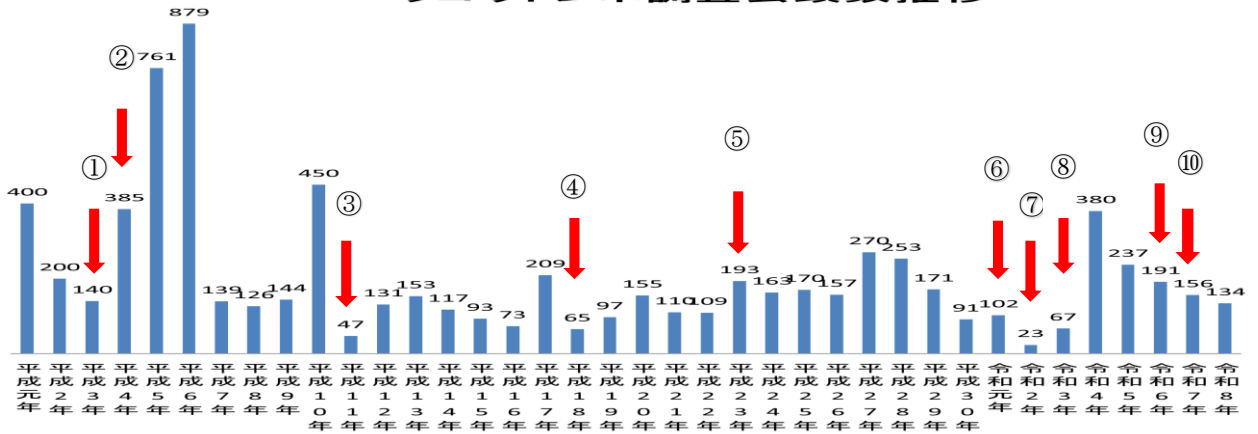


開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)
住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地
電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



ベッコウトンボ保護・増殖の歩み

ベッコウトンボ調査会頭数推移



上のグラフは「ベッコウトンボ調査会」での確認頭数の結果の推移です。毎年、調査会の結果を考察して、試行錯誤で保護・増殖活動を進めてきました。その取組や活動の歴史を紹介します。（*上のグラフの①～⑩の年に行った取組等を下に写真と説明で紹介いたします。）

① 自然環境保全地域とは

自然環境保全法及び都道府県条例に基づき、自然環境の保全や生物の多様性の確保のために指定された地域で、ほとんど人の手の加わっていない原生の状態が保たれている地域や優れた自然環境を維持している地域として、「原生自然環境保全地域」、「自然環境保全地域」「沖合海底自然環境保全地域」または「都道府県自然環境保全地域」が指定されている。

そのため、指定された地域では自然環境の適正な保全を目指し、開発や土砂の採掘、動植物の採集・採獲、植栽・放牧などが規制・制限されている。



① 市民団体の熱意が伝わり平成3年に静岡県から「自然環境保全地域」に指定され沼の自然が守られた。

② 重機で地面を掘り復元池を作成し、ベッコウトンボの産卵を誘致したところベッコウトンボの数が増えた。

③ 前年にアメリカザリガニが大発生して多くのヤゴが食べられてしまったため、定期的な駆除を開始した。



③ カニ網の中に団子状にした餌をいれ一日放置すると翌日には多くのザリガニがかかっている。

③ 磐田南高校生物部の生徒が校内である程度までヤゴを成長させてから沼に放すという活動を行った。

④ 「岩井里山の会」が沼の北に「生け簀」を設置し、産卵を誘致するという保護・増殖活動を開始した。



⑤ 餌塚にアメリカザリガニの影響を受けないようコンテナ群を設置し、ここを保護・増殖活動の拠点とした。



⑥ 沼本体での羽化を実現するよう、半陸地化した沼を掘って池を作り、産卵を誘致した。



⑦ ベッコウトンボは生存競争に弱いため、他のトンボが産卵しないようにコンテナに網を掛けた。



⑧ ヤゴの順調な成長と、共食い防止をねらいとして7月～11月と3月に餌（イトミミズ）を与えている。



⑨ 近年の猛暑による温水や水温の異常な上昇を防ぐため、夏はコンテナの上ですだれをかけている。



⑩ 市内の企業の協力を得て、やや大きめで深い、新しい池を創出した。自然での羽化をより図りたい。

センター行事：「夜の昆虫観察 ～光に集まる昆虫を観察しよう～」

☆日時 7月25日（土） 19：00～20：45

☆場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼

☆対象 一般（小中学生は保護者同伴で保護者の方も一緒に参加してください。未就学児の参加・見学は不可）

☆内容 夜の昆虫の生態について説明を受けた後、ライトに寄ってきた昆虫の観察を行います。

☆服装・持ち物 長そで・長ズボンで野外観察ができる服装、水筒、タオル、懐中電灯、少雨の場合カッパと長靴または汚れてもいい靴、行事開始前や前日に雨が降った場合も長靴や汚れてもいい靴

*安全のためサンダルでの参加ははやめてください。

☆備考 天候によっては中止になることがあります。

☆募集人数 20人 先着順

もう申し込みは直接、
電話やファックスで
ビジターセンターへ
TEL:0538-39-3022
FAX:0538-39-3023

センター行事：「こんちゅうクンの昆虫教室」

☆日時 7月30日（木） 9：30～11：30

☆場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼

☆対象 小・中学生（小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学は不可）

☆内容 こんちゅうクンの解説を聞きながら桶ヶ谷沼の昆虫たちとふれあう

☆服装・持ち物 長そで・長ズボンで野外観察ができる服装、帽子、軍手、水筒、タオル、虫取り網、虫かご（ただし、観察後は逃がします）少雨の場合カッパと長靴または汚れてもいい靴、行事開始前や前日に雨が降った場合も長靴や汚れてもいい靴

☆備考 天候によっては中止になることがあります。

☆募集人数 20人 先着順